

第 2 回東北地方太平洋沖地震を踏まえた河口堰・水門等技術検討委員会

議事要旨（案）

開催日時：平成 23 年 5 月 27 日（金） 17：00～19：20

開催場所：財団法人国土技術研究センター 第 2・第 3 会議室

議 事：①第 1 回委員会議事要旨（案）の確認

②第 1 回委員会における指摘事項について

③東北地方における河口堰・水門等の復旧に向けての緊急提言（案）について

議事内容：

〔第 1 回委員会議事要旨（案）について〕

- 議事要旨について、別紙のとおり確認。

〔津波に関する用語の定義（案）について〕

- 河川津波高は、河川全地点の中で水位が最も上昇した高さ（極値）ではなく、各観測地点の極値として定義しているの、その旨明確にすべき。
- 施設との関係を見る上では T.P.表示が分かりやすい場合もあるので、注釈を追加するなり、用語の定義を追加（T.P.津波高など）すべき。

〔第 1 回委員会資料の訂正と補足について〕

- 津波到達地点のグラフについて、多摩川の津波到達地点について再確認すること。
また、欠測となった観測所は、その原因も記載すべき。
- 第 1 波の河川津波高と河川津波高のグラフについて、観測所の河口からの距離を明記すべき。
- 今後は、全国の施設の全てを 1 分間隔で観測した方が良い。
10 分データと 1 分データにズレが生じている原因を調べておくこと。
- 津波の遡上と漂着物について、鳴瀬川と吉田川を分けて整理すべき。
- 北上大橋が 400m 流されていることも踏まえ、構造物に対する下からの力について、考え方も整理すべき。

〔次回以降の議論〕

- 施設の被害状況を再整理した上で、第 3 回委員会では今後の設計について、第 4 回委員会では今後の操作について議論する。

〔緊急提言（案）について〕

- 名称を「東日本大震災における河口堰・水門等の復旧に向けての緊急提言」とし、出水期に向けて留意すべき事項と、復旧に向けて考慮すべき事項を緊急的にとりまとめることとし、今後の設計や操作については、別途とりまとめることとした。